

編集後記：この7月、「天気」の編集委員会を失礼し、米国コロラド州ボルダー市にあるNCAR(大気科学研究所)で開かれた「第6回コンピューターに支援された気象学についての学習および遠隔学習に関する国際会議(CALMeT 2004)」に出席した。NCARは、大気科学分野の講座を持つ大学の共同利用施設であるが、研究の成果を広く社会に還元する活動にも重点を置いている。CALMeTは、ほぼ10年前から始まったコンピューターや通信技術が持つ特性をふんだんに使った、気象学をより効率的に、しかも遠隔地にあっても学習できるシステムを目指したプログラムである。ここでいう気象学は天気予報技術をも含む広義の概念である。対象者は、学生のみならず教師や一般人である。米国では、このような学習システム作りが、国家的事業として進められているようだ。例えば、気象学の教育・学習サイト <http://www.meted.ucar.edu> を始め、最近では、ほぼ5年をかけた地球システム教育デジタル図書館(DLESE: Digital Library for

Earth System Education. <http://www.dlese.org>) をリリースしている。

CALMeT 2004で、フランス、ドイツ、欧州気象衛星機関、フィンランド、ロシア、ブラジルなどでも、それぞれ国情に応じたシステム作りが行なわれているのを目にした。なお、日本の気象衛星センターの解析システムも紹介され、評価が高かった。

眼を日本に転じると、気象学の研究や予報技術の開発が大学や官庁などで日夜続けられているが、それらの成果はともすると天気予報の発表に集約あるいは象徴されがちであり、気象全般の普及活動はさほど活発とはいえない。会議の帰路、なかなか太陽の落ちない機内で、次々と眼下の北太平洋に展開される雲を眺めながら、JAMeT?(日本版の気象教育・学習システム)が官学産(順不同)の共同で出来るのはいつの日かと、幾たびかまどろんだ。

(古川武彦)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 里村雄彦(理事)・古川武彦(理事)

藤部文昭(理事)

青柳曉典・大淵 濟・勝山健一

金田昌樹・上口賢治・川島正行

木村陽一・杵渕健一・小出 寛

小林健二・桜井敏之・佐藤晋介

小司禎教・関山 剛・高橋 宙

田口晶彦・寺坂義幸・中西幹郎

中村 尚・新村典子・平井雅之

別所康太郎・水野 量・望月隆史

山本 哲

地区編集委員 北海道 清水為一・渡部雅浩

東北 藤田由紀夫・岡本 創

関東 田代誠司・河野耕平

中部 永尾一平・岡田 京

関西 山本二郎・山中大学

九州 磯部英彦・中島健介

沖縄 宮良武男

編集書記 遠藤和子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体(図書館も含む)は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
学術著作権協会

Tel : 03-3475-5618, Fax : 03-3475-5619

E-mail : naka-atsumuj.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel : 81-3-3475-5618, Fax : 81-3-3475-5619

E-mail : naka-atsumuj.biglobe.ne.jp